

防災セミナーを長野県・長野市・信州大学等と共に開催

～将来の自然災害への備えを学び、共助・自助力を高める～

日本損害保険協会関東支部長野損保会（会長：野中 厚司・三井住友海上火災保険株式会社 長野支店長）では、12月20日（土）長野市のホテル信濃路で、野県、長野市、信州大学教育学部防災教育センター、信州地震等災害保険・共済加入促進協議会、長野県損害保険代理業協会の共催により「防災セミナー in 長野」を以下のとおり開催し、当日は92名の参加がありました。

■防災セミナー in 長野

日時：2025年12月20日（金）14時～16時10分

場所：ホテル信濃路 2階大会議室 「穂高」

主催：日本損害保険協会 関東支部長野損保会

共催：長野県、長野市、信州大学教育学部防災教育研究センター、

信州地震等災害保険・共済加入促進協議会、長野県損害保険代理業協会

後援：NHK長野放送局、信濃毎日新聞社

協力：長野商工会議所

<プログラム>

開会挨拶：野中 厚司（日本損害保険協会関東支部 長野損保会長）

第1部講演：廣内 大助氏（信州大学教授、教育学部防災教育センター長、地域防災減災センター（防災減災教育部門長）

「長野の自然災害に備える」

第2部講演：羽田 直史氏（長野県危機管理部 危機管理防災課長）

「長野県の防災への取組み」

第3部講演：野中 厚司（日本損害保険協会関東支部 長野損保会長）

「自然災害に備える損害保険について」

閉会挨拶：中澤 純一氏（長野県損害保険代理業協会会長）

防災セミナーは、3部構成とし、開催に先立ち、主催者を代表して、長野損保会の野中 厚司会長から、「自ら命を守るためにどう行動すればよいか、また、ご家族の命をどう守っていくべきかについて考える機会としてもらいたい。また、経済的な備えとして保険や共済も有効な自助の方法である点も学んでほしい」と挨拶がありました。

第1部では、信州大学教育学部 防災教育研究センター長の廣内 大助教授から、「長野の自然災害に備える」と題して講演があり、「水害については、令和元年の東日本台風では、北陸新幹線が水に浸かり、千曲川が氾濫して守田神社が流される等、大きな被害が出ており、長野盆地や松代地区のような緩やかな土地に水が溜まる傾向にあることから注意が必要である。また、地震については、1847年の『善光寺地震』が有名で約2,500名の死者数となっており、江戸時代の瓦版では『江戸鯰と信州鯰』と表現されるように信州を震源とする地震は有名であった。『長野盆地西縁断層帯』の今後30年の発生確率は13-30%と高い数値となっているため注意が必要である（海溝型地震の影響を受ける地域を除いては、内陸地震発生確率は長野県で最も高い）。活断層地震では土地に段差やゆがみ、液状化、構造物の崩壊等の被害が想定され、対策としては新た

な詳細な活断層図や地震動予想地図の整備が求められる。また、普段からの取組みとして住民自治組織の役割は大きく、共助の力を鍛え備える必要があり、避難所運営主体は行政と地域住民であることから、特に初期運営については、地域住民が主体となるため訓練が必要である。避難所となる指定小学校等ではフェイズ・フリーの活用した環境整備も求められる。被害軽減のためには過去の災害の教訓をしっかりと伝えていく必要があり、「災害デジタルアーカイブ」としてデータを残しているので活用してほしい」と訴えました。

第2部では、長野県 危機管理部危機管理防災課の羽田 直史課長から、「長野県の防災への取組み」と題して、講演があった。同課長から、「長野県では『逃げ遅れゼロ』および『地震災害死ゼロ』の取組みを重点に進めている。『逃げ遅れゼロ』については、「信州防災アプリ」でマイタイムライン作成や災害時にどのように行動すれば良いかを確認することができる。「地震災害死ゼロ」については、家具転倒等で大けがに発展することもあるため、無料の耐震診断や耐震改修や建て替え等では、市町村補助と県補助で最大165万円の助成金を得られる可能性あるため活用してほしい。また、備蓄については普段から少し多めの食材を用意して古いものから食べる『ローリングストック』が有効であり、最低3日間、可能であれば1週間分を備蓄してほしい。経済的な備えについては、公的補助で足りないことから地震保険や共済に加入する『自助』が大切であり、「共助」として非常計画作成や避難所運営訓練を地域で実施する『共助』も大切である」と訴えました。

第3部では、当協会長野損保会の野中 厚司会長（三井住友海上火災保険株式会社長野支店長）から、「自然災害に備える損害保険」と題して講演があり、「地震や火山の噴火による損害を補償するのは『地震保険』であり、過去の災害の歴史から長野県でも地震や火山の噴火リスクがあるため、自助での備えとして地震保険や共済への加入を検討してほしい。また、大雨や台風等による自然災害による損害は『すまいの保険（火災保険）』で補償される点は理解して今後に備える手段として検討してほしい。」とのアドバイスがありました。

最後に、長野県損害保険代理業協会の中澤 純一会長から、閉会挨拶があり、「代理店は、県民の暮らしや事業に『備え』を届ける仕事をしており、事故や災害のあとに支えになる存在でありたい。『みんなで防災に取り組む』姿勢が、今後ますます大事であり、本日得られた学びや気づきを、職場や家庭、地域で広げてもらえたら嬉しい」と挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

アンケートでは、9割以上の聴講者からわかりやすかった、役に立ったとの回答があり、「防災や減災、その後の対応などについて専門的な知識が得られた」、「講演で得たことを自分なりに伝えられる限り周囲に伝えたい」、「もっと防災セミナーを開催してほしい」などの感想が寄せられました。

また、家庭でできる防災対策についても、すぐにでも対策を講じようと思う（56%）、「今後何か対策を考える必要がある（42%）」との回答があり、今回のセミナーが防災についての意識の変化や行動変容に結び付いたと認識できました。（アンケート6（2）参照）。当支部では、引き続き、防災・減災に係る意識向上に向けて取り組んでまいります。



野中長野損保会長 開会挨拶



信州大学・廣内教授の講演



長野県防災危機管理課
羽田課長の講演



野中長野損保会長の講演



長野代協 中澤会長 閉会挨拶



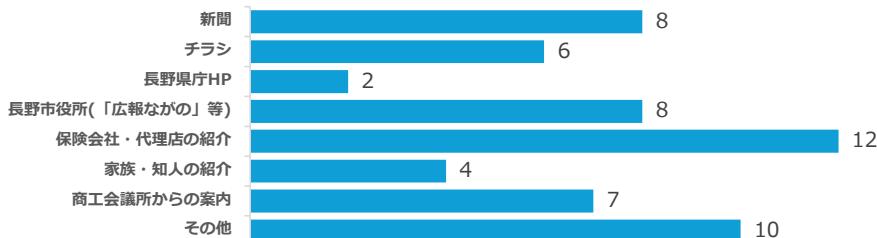
セミナーの様子

防災セミナーアンケート結果

セミナー参加者数
92
アンケート回収数
58

アンケート回収率
63.0%

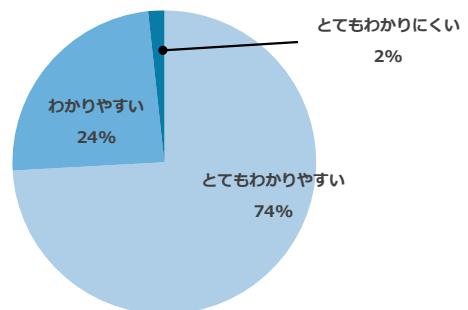
1. 本日のセミナーをどのように知りましたか（複数回答）



2. 講座①「長野の自然災害に備える」信州大学 教育学部

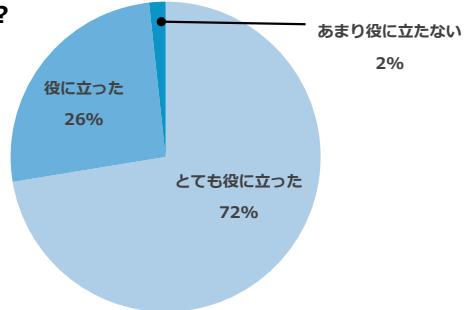
(1) 内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	43
わかりやすい	14
わかりにくい	0
とてもわかりにくい	1



(2) 地震・風水害に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

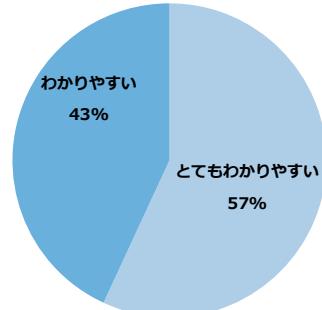
とても役に立った	42
役に立った	15
あまり役に立たない	1
全く役に立たない	0



3. 講座②「長野県の防災への取組み」長野県 危機管理防災課

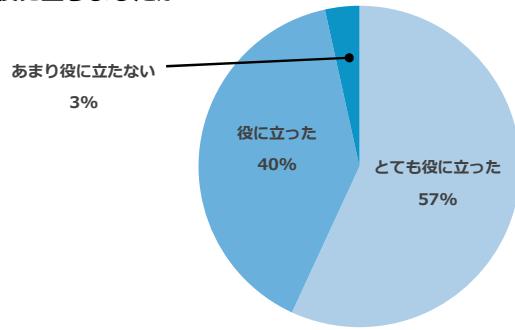
(1) 内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	33
わかりやすい	25
わかりにくい	0
とてもわかりにくい	0



(2) 地震・風水害に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

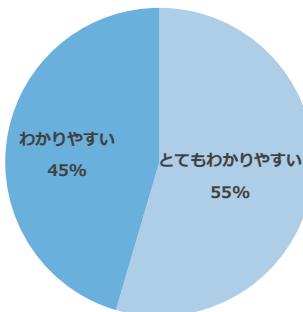
とても役に立った	33
役に立った	23
あまり役に立たない	2
全く役に立たない	0



4. 講座②「自然災害に備える損害保険」日本損害保険協会・長野損保会

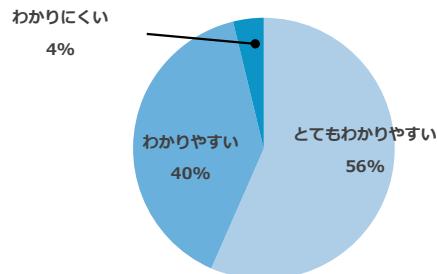
(1) 内容は、わかりやすかったですか？

とてもわかりやすい	30
わかりやすい	25
わかりにくい	0
とてもわかりにくい	0



(2) 地震・風水害に備えるため、講演内容は役に立ちましたか？

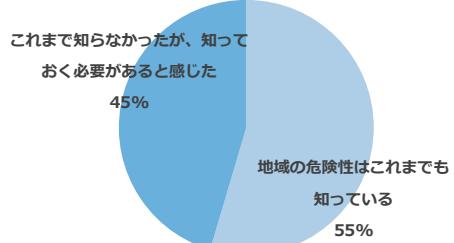
とてもわかりやすい	30
わかりやすい	21
わかりにくい	2
とてもわかりにくい	0



6. 本日のセミナーを聞いて、ご自身の防災への意識がどう変わったかお聞かせ下さい。

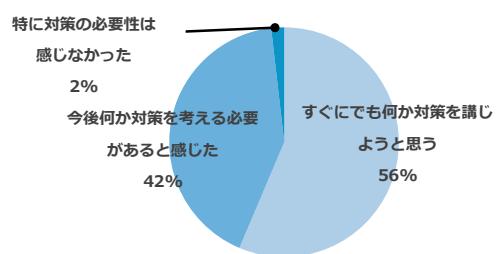
(1) 自分が住んでいる地域の危険性を知ることについて

地域の危険性はこれまでも知っている	30
これまで知らなかったが、知っておく必要があると感じた	25
あまり必要性を感じていない	0



(2) 防災対策について

すぐにでも何か対策を講じようと思う	31
今後何か対策を考える必要があると感じた	23
特に対策の必要性は感じなかった	1



(3) 自助としての地震保険・共済の加入の有無や必要性について(複数回答可)

すでに地震保険・共済に加入している	39
地震保険・共済に未加入であるが、加入しなければならないと感じた	13
地震保険・共済の加入は必要ないと思った	0
地震保険・共済に加入しているかわからない	4

